

相楽中部消防本部庁舎 ボーリング調査結果速報

ボーリング調査は計画地点の代表的な中間箇所の小段2段目（下図「調査位置平面図B-1, B-2, B-3の3箇所」）で、土砂が厚いと予想される谷状の箇所を実施しました。調査の結果は、小段2段目の盛土(B)の下並びに小段2段目北側斜面には崖錐堆積物(dt) および、基礎地盤の大阪層群(0s)が分布します。各層の状況は以下の通りです。

- ・盛土(B) : 谷に盛り立てられた平坦地で、N値4~5の礫混じりの砂質粘土などが分布しています。
- ・崖錐堆積物(dt) : 谷状の箇所に堆積した土砂状の堆積物です。現在は安定していますが、工事による掘削や豪雨で不安定になる可能性があるため、調査結果をもとに斜面を安定化するための対策を講じます。
- ・大阪層群(0s) : 周辺の基盤をなす大阪層群の砂・粘土層です。全体にN値30以上の固結度の高い安定した地盤で、周辺の住宅地などもこの基盤の上にあります。

上記のように斜面には崖錐堆積物が分布していることが判明したので、この崖錐堆積物が崩れないような対策を講じて施工を進めます。

今後、新庁舎や訓練棟などの配置計画がまとまり次第、改めてボーリング調査を実施します。

